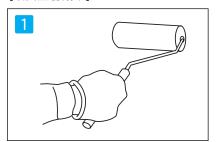
施工要領

施工要領(寸法図)

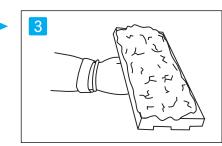
【改良圧着貼り】



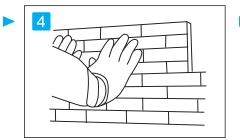
施工面を清掃後、プライマー処理を行います。



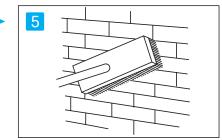
躯体に貼り付けモルタルを3~5mmの厚さに、30分程度 で貼り材を貼ることができる面積に塗ります。



ーー 貼り材の裏側に中央が20mm程度になるように樹脂 モルタルを全体に塗ります。

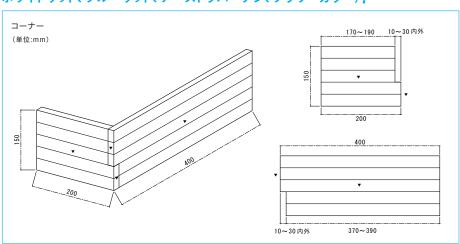


貼り付けは改良圧着貼りで最下段より積み上げていきま す。また、ビブラートを用い、十分に圧力をかけて貼って下

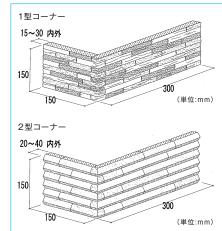


石に付着したモルタル粉は少し硬化してからブラシで 掻き落とし、その後、すぐに水を含ませたスポンジ等で 完全に拭き取って下さい。

【ウォールストーン(ミルキーホワイト、グレイッシュ、マットブラック、 ホワイトウッド、ブルーウッド、アーストラバーチン、フラワーカラー)]



【ミルストーン】



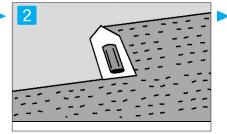
コンビニブリック

施工要領

※この施工要領は、外構工事における躯体・新設の場合を対象としています。

【弾性接着剤(セラタック)施工要領】

下地のほこり・油分・レイタンス汚れ等を除去し、専用プ ライマーの塗布処理を行います。



地塗り 貼付けに使用する弾性接着剤(セラタック)を下地に



張り付け もみ込むように強く張り付けて下さい。

※外構工事の門柱や塀に施工する際には、接着面に対する雨水の浸透を避けるため、必ず笠木の施工をして下さい。

スプリットマーブル



が地となる部材は、コンクリート・ブロック・ALC等石材の重量荷重に対応できるものなら基本的に施工可能です。下地の不陸・油分・錆・ゴミ・埃等を十分除去します。施工下地面が十分に乾燥していることを確認願います。*若令下地への施工は石材汚染の原因となりますので



ボンド点付け 石材1ビースに2点~3点、ダンゴ状にボンドを点付します。 ボンド点付間隔は、150mmを目安に20mm×20mm



大きさ・長さ・色調等が偏らないように予め数ケースを 開封し、混合させたうえで仮並べを行い、全体のバラ

った。 長さに関しては乱尺の為、目地が通らないように配置を

ンスを整えます。

考慮させます。

コーナー部分がある場合は、最下段部のコーナー部より 施工を始めます。 はみ出したボンドは水に浸したスポンジやタオル等で 速やかに良く拭き取ります。



ルともす。 *接着剤の練り混ぜが不十分ですと、接着強度不良・ 石材汚染の要因となります。



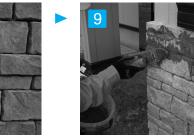
平もの貼付け 石を水平に施工する為、予め施工面に水平墨を何本か 打つと施工基準となります。 はみ出したボンドは水に浸したスポンジやタオル等で 速やかに良く拭き取ります。



端部はダイヤモンドホイールで製品の裏面より2/3ほど 切込みを入れて表面から叩き割るような形で寸法を 調整します(タンキリ・小コヤスケ等の使用にて)。



貼付け完了・養生 接着剤を硬化させる為、石材施工後1日以上外力が加わらないように養生します。



目地詰め 目地あり施工と目地なし施工があります。

- 日地あり施工の場合 ・目地あり施工の場合 接着剤硬化後、目地セメントを使用して目地埋め→
- 接着削減化後、日地セスノトを使用して日地建めて 拭き取り→清掃 *伸縮目地部や設備器具との取合い部には、弾性目地 (コーキング剤)を設けます。 ・目地なし施工の場合
- 各種寸法によりすり合わせが必要となり、施工速度が 遅れます。また、必要な石材量も増えます。



■ ご注意

※施工要領に使用している商品は、実際の商品とは異なります。 ※スプリットマーブルに役物はございません。